



迷惑駐車はやめましょう

道路わきに雪山ができる今の時期、とかく通行や除雪の邪魔になるのが迷惑駐車。一月三十一日、鉄西連合町内会では、まちから迷惑駐車をなくそうと街頭啓発を行いました。

地域の人たち約四十人が、のぼりを先頭にJR札幌駅北口周辺をパトロール。みんなの願いが通じて、マナーを守る温かいまちになるといいですね。



▶迷惑駐車をしている車両に、駐車禁止のチラシと駐車場マップを挟む地域の人たち



▲「悪い鬼はまちから出て行け！おには～そと、ふくは～うち」

まちの鬼を退治したよ

節分の日の行事といえば、邪気や災難を鬼に見立てて追い払う豆まき。二月一日、篠路西児童会館では、まちの鬼を追い払い、福を呼ぼうと、豆まき隊が結成されました。

子どもたちは一手に分かれて、近所のお店や家を回り、「鬼は外、福は内」と豆をまいて歩きました。鬼を追い払った後は、みんなで自分の年齢の数だけ豆を食べていましたよ。

冬の行事、真っ盛り

本格的な冬になり、辺り一面は銀世界。そんな中、区内のあちこちでは、さまざまな冬を楽しむ行事が行われました。

その一つ、北地区で二月三日に行われた「冬を楽しむ集い」(写真↓)には、地域の親子約百五十人が参加。スノーダンプリレーや玉の代わりに雪を投げ入れる「雪入れ」など、季節に合ったゲームを楽しみました。

同じ日に屯田西公園で開かれたのは、「北区スノーホッケー大会」(写真←)。参加した小学生たちは、元気いっぱいコートの中を走り回っていました。



▲「今がチャンスだ！それっ、シュート」



▲雪の上で綱引きを楽しむチビっ子たち



▶「しっかりとつかまるんだよ」「ババー、ママー。早過ぎて、怖いよー」

また、新川地区では、二月十日に「親子雪中運動会」(写真←)が行われ、約百人の親子が参加。子どもを乗せたそりを引っ張る「親子バンバリレー」では、勢い余って、子どもがそりから落ちたり、お父さんが滑って転んだり。そのたびに、会場には大きな笑い声があふれていましたよ。